

技能実習生 332 人に宮城県産米を提供



新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける外国人技能実習生を支援しようと、塩竈市は市内35社で働く332人の実習生に、宮城県産ひとめぼれ5kgなどの食料品を詰め合わせにした『外国人技能実習生応援パック』を提供した。

提供された食料品は、宗教上の制約等で食べることができないものが含まれないよう、実習生に事前にアンケートを行い、普段の生活で食べているものに近いものを選定しており、宮城県産の米は多くの実習生が日頃から好んで食べていると回答があったものだ。

市内で海鮮せんべいを製造・販売するスギ製菓で働くベトナムからの実習生ドー・マン・ヴーさん（24）とチャン・スアン・マンさん（25）は「お米は毎日食べるもの

なので本当に助かりました」と感謝の気持ちを述べた。

塩竈市の佐藤光樹市長は「実習生のみなさんは水産加工業など塩竈市の基幹産業を担ってくれている仲間。実習生の方々がこれからも安心して暮らしていけるように支援していきたい」と語った。

